



## 令和6年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年4月12日

上場会社名 アクサホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3536 URL <https://www.axas-hd.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久岡 卓司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 新藤 達也 TEL 078-391-4000  
四半期報告書提出予定日 令和6年4月12日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和6年8月期第2四半期の連結業績（令和5年9月1日～令和6年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年8月期第2四半期	5,990	4.4	5	△97.3	△58	—	△62	—
5年8月期第2四半期	5,736	△1.2	187	△34.9	133	△42.8	118	△46.8

(注) 包括利益 6年8月期第2四半期 △51百万円 (—%) 5年8月期第2四半期 127百万円 (△42.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年8月期第2四半期	△2.07	—
5年8月期第2四半期	3.90	—

※ 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年8月期第2四半期	17,603	1,906	10.8	62.88
5年8月期	17,594	2,079	11.8	68.57

(参考) 自己資本 6年8月期第2四半期 1,906百万円 5年8月期 2,079百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年8月期	—	0.00	—	4.00	4.00
6年8月期	—	0.00	—	—	—
6年8月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

※ 配当金の内訳

令和5年8月期期末 普通配当2円00銭 特別配当2円00銭

3. 令和6年8月期の連結業績予想（令和5年9月1日～令和6年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,386	12.0	411	124.4	280	740.3	260	—	8.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年8月期2Q	30,325,252株	5年8月期	30,325,252株
② 期末自己株式数	6年8月期2Q	ー株	5年8月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年8月期2Q	30,325,252株	5年8月期2Q	30,325,252株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（令和5年9月1日から令和6年2月29日まで）のわが国の経済は、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化、不動産市況低迷による中国経済の減速や米国大統領選の不透明感等により世界的な景気後退リスクが広がっております。国内においては、内需の回復やインバウンド需要の拡大に伴う雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直し等により、景気は緩やかな回復基調にあります。一方で、為替市場の円安進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料や資源価格の高騰等が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。そのような経済環境のなか、当社グループは、お客様の日常から最も近いところから「本当にいいものや必要とされるものを見極める感性を磨き続け、良質な提案をスピーディーにお届けすること」を最重要使命とし、グループ全体でお客様、そして地域社会の生活文化の質的な向上を「美・健康・ゆとりの側面」から応援し、顧客満足、社員満足を高めていくことで会社満足も高め、これら3つの満足によってグループ価値の更なる向上に努め、株主様、取引先様をはじめとするすべての関係者の皆様への利益還元と社会貢献の実現を目指しております。

具体的な取り組みとして、令和5年12月、チャーリー沖浜店（徳島県徳島市）において、コスメを中心に、国内ブランドや海外のラグジュアリーブランド、フレグランス等のアイテムを充実するリニューアルを実施いたしました。その一方で、アレックスコンフォート星が丘テラス（名古屋市中種区）を閉店、また、アワーリカー藍住店（徳島県板野郡）については、現状の収益と不動産賃貸事業へ転換した場合の収益の将来キャッシュ・フローを比較検討し、不動産賃貸事業への転換がより合理的であると判断し、令和6年1月に閉店いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、39店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの経営成績につきましては、売上高は5,990百万円（前年同四半期比4.4%増）となり、営業利益は5百万円（同97.3%減）、経常損失は58百万円（前年同四半期は経常利益133百万円）となりました。特別損失及び法人税等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は62百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益118百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 小売事業

小売事業につきましては、ヘルス&ビューティーケアユニットでは、ベビー、マタニティ用のスキンケア関連商品の客注販売が落ち込んだ一方で、売れ筋商品に注力したインポートコスメやフレグランス等、化粧品関連商品の販売が好調に推移いたしました。

ライフスタイルユニットでは、年齢、性別等にとらわれないデザインで、低価格・高品質なアクセサリーの販売が好調に推移いたしました。一方で、前年同四半期好調だったアパレル部門のトップスやアウター等の高単価商品の販売が振るいませんでした。

アスレユニットでは、メンズ、レディースのトップスの販売が好調に推移いたしました。一方で、前年同四半期あった外商部門の大口客注販売が剥落いたしました。

ホームキーパーユニットでは、人気の高機能シャープペンの販売が好調に推移いたしました。一方で、前年同四半期あった電動自転車等の販売が振るいませんでした。

アルコユニットでは、前年同四半期好調だったシャンパンの販売が苦戦した一方で、普段飲みのウイスキーから希少価値の高い高額ウイスキー、ブランデー等の販売が好調に推移いたしました。

EC（無店舗小売販売）では、香水や雑貨等の販売が苦戦しましたが、化粧品やウイスキー等の酒類、幼児用食器の販売が好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は4,149百万円（前年同四半期比12.0%増）、セグメント利益は43百万円（同54.9%減）となりました。

#### ② 卸売事業

卸売事業につきましては、円安による訪日外国人の増加によりインバウンド消費者向け商材の販売が大きく伸びました。一方で、円安の影響により商品仕入れ単価の高騰が続いたことやコロナ禍の外出制限時に自宅で飲まれていた嗜好品需要の消費が落ち着いたことにより高付加価値商品の販売が振るいませんでした。六甲山蒸溜所においては、インバウンド消費の最前線である免税店において売上の伸びが見られたことや、様々な流通マーケットへ営業展開したことにより販売が大きく伸びましたが、急激な円安の影響による仕入れ価格の高騰を販売価格へすべて転嫁することは難しく、当セグメントの総利益額を押し上げるには至りませんでした。

これらの結果、売上高は1,947百万円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント利益は47百万円（同76.7%減）となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、所有物件の価値を維持、向上させることにより、引き続き既存テナントからの安定した売上及び利益を確保しております。

これらの結果、売上高は324百万円（前年同四半期比2.1%増）、セグメント利益は139百万円（同8.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は17,603百万円（前期末比0.1%増）となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金304百万円及び有形固定資産106百万円等の増加に対し、棚卸資産327百万円等の減少によるものであります。

負債合計は15,696百万円（同1.2%増）となり、前連結会計年度末に比べ181百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金815百万円、社債200百万円等の増加に対し、未払金1,082百万円等の減少によるものであります。

純資産合計は1,906百万円（同8.3%減）となり、前連結会計年度末に比べ172百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金11百万円の増加に対し、親会社株主に帰属する四半期純損失62百万円及び配当金の支払121百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は10.8%（前期末比1.0ポイント減）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は1,102百万円（前年同四半期末比58.0%減）となり、前年同四半期末に比べ1,519百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果獲得した資金は411百万円（前年同四半期は460百万円の獲得）となりました。主な要因は税金等調整前四半期純損失72百万円に対し、棚卸資産の減少額327百万円、減価償却費187百万円、仕入債務の増加額197百万円等により増加し、その他の流動負債の減少額115百万円、未払消費税等の減少額127百万円等により減少いたしました。

② 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は1,170百万円（前年同四半期は214百万円の使用）となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出264百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出956百万円等により減少いたしました。

③ 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果獲得した資金は1,062百万円（前年同四半期は6百万円の使用）となりました。主な要因は長期借入れによる収入1,000百万円、短期借入金の純増加額189百万円、社債の発行による収入200百万円等により増加し、長期借入金の返済による支出184百万円、配当金の支払による支出121百万円等により減少いたしました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和5年10月13日付「令和5年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和6年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	797,917	1,102,276
売掛金	447,364	492,690
棚卸資産	4,939,931	4,612,187
預け金	29,754	14,571
未収還付法人税等	33,664	—
その他	186,507	170,615
貸倒引当金	△2,132	—
流動資産合計	6,433,007	6,392,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,227,634	2,250,495
機械装置及び運搬具(純額)	276,184	257,159
什器備品(純額)	214,607	312,716
リース資産	13,498	18,984
土地	6,446,032	6,446,032
建設仮勘定	881	—
有形固定資産合計	9,178,837	9,285,388
無形固定資産		
のれん	541,664	523,559
借地権	58,348	58,348
ソフトウェア	42,140	120,020
ソフトウェア仮勘定	37,961	—
電話加入権	7,821	7,821
無形固定資産合計	687,936	709,751
投資その他の資産		
投資有価証券	134,711	142,082
繰延税金資産	322,340	340,766
敷金及び保証金	537,878	523,916
破産更生債権等	4,686	4,686
その他	286,891	196,547
貸倒引当金	△4,686	△4,686
投資その他の資産合計	1,281,822	1,203,313
固定資産合計	11,148,596	11,198,453
繰延資産		
社債発行費	12,775	13,104
繰延資産合計	12,775	13,104
資産合計	17,594,380	17,603,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和6年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	543,197	740,393
短期借入金	8,340,082	8,530,000
1年内返済予定の長期借入金	298,251	399,084
リース債務	4,331	5,662
未払法人税等	27,807	11,989
賞与引当金	22,518	23,803
未払金	1,248,354	165,853
その他	203,222	76,435
流動負債合計	10,687,765	9,953,220
固定負債		
社債	600,000	800,000
長期借入金	3,540,490	4,255,115
リース債務	10,954	15,657
役員退職慰労引当金	100,449	100,571
資産除去債務	203,420	200,601
受入保証金	337,492	339,572
繰延税金負債	—	2,719
その他	34,446	29,487
固定負債合計	4,827,252	5,743,726
負債合計	15,515,018	15,696,946
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,686,487	1,686,487
利益剰余金	327,334	143,301
株主資本合計	2,063,821	1,879,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,540	27,162
その他の包括利益累計額合計	15,540	27,162
純資産合計	2,079,361	1,906,951
負債純資産合計	17,594,380	17,603,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年9月1日 至 令和5年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年2月29日)
売上高	5,736,737	5,990,004
売上原価	4,126,404	4,447,062
売上総利益	1,610,332	1,542,942
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	468,935	459,607
その他	953,449	1,078,259
販売費及び一般管理費合計	1,422,385	1,537,866
営業利益	187,947	5,075
営業外収益		
受取利息	142	111
受取配当金	1,071	1,413
その他	3,836	4,707
営業外収益合計	5,049	6,232
営業外費用		
支払利息	49,881	53,982
為替差損	—	8,008
その他	9,573	7,982
営業外費用合計	59,454	69,974
経常利益又は経常損失(△)	133,542	△58,666
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,668
特別利益合計	—	2,668
特別損失		
固定資産除却損	1,253	2,955
閉店損失	—	12,852
その他	—	437
特別損失合計	1,253	16,245
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	132,289	△72,243
法人税、住民税及び事業税	12,968	12,206
法人税等調整額	1,058	△21,717
法人税等合計	14,027	△9,511
四半期純利益又は四半期純損失(△)	118,261	△62,731
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	118,261	△62,731

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年9月1日 至 令和5年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	118,261	△62,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,997	11,622
その他の包括利益合計	8,997	11,622
四半期包括利益	127,259	△51,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	127,259	△51,109

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年9月1日 至 令和5年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	132,289	△72,243
減価償却費	159,745	187,325
繰延資産償却額	2,760	2,471
貸倒引当金の増減額(△は減少)	223	△2,132
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,670	1,285
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,649	122
受取利息及び受取配当金	△1,213	△1,525
支払利息	49,881	53,982
為替差損益(△は益)	△106	△18
固定資産売却損益(△は益)	—	433
固定資産除却損	1,253	2,955
閉店損失	—	12,852
売上債権の増減額(△は増加)	△14,349	△45,325
棚卸資産の増減額(△は増加)	273,946	327,744
仕入債務の増減額(△は減少)	△62,436	197,196
未払消費税等の増減額(△は減少)	37,503	△127,749
未収消費税等の増減額(△は増加)	51,263	—
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△67,298	37,030
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△39,686	△115,142
有価証券売却損益(△は益)	—	△2,664
その他	806	3,300
小計	544,903	459,899
利息及び配当金の受取額	1,072	1,416
利息の支払額	△48,145	△55,187
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△36,841	5,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	460,988	411,768
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△194,639	△264,722
有形固定資産の売却による収入	2,727	80
無形固定資産の取得による支出	△2,000	△70,852
資産除去債務の履行による支出	—	△6,910
保険積立金の解約による収入	—	99,110
投資有価証券の取得による支出	—	△32
投資有価証券の売却による収入	—	12,960
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△956,000
預り保証金の返還による支出	△16,554	△3,269
預り保証金の受入による収入	9,404	5,349
敷金及び保証金の差入による支出	△6,921	—
敷金及び保証金の回収による収入	1,674	14,069
その他	△8,593	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,903	△1,170,215
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000	189,917
リース債務の返済による支出	△2,021	△2,637
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△144,952	△184,542
社債の発行による収入	300,000	200,000
配当金の支払額	△119,203	△121,147
その他	△10,674	△18,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,851	1,062,788
現金及び現金同等物に係る換算差額	106	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	239,340	304,359
現金及び現金同等物の期首残高	2,382,133	797,917
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,621,473	1,102,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 令和4年9月1日 至 令和5年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			
	小 売 事 業	卸 売 事 業	不動産賃貸事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	3,703,080	1,717,181	—	5,420,262
その他の収益	—	—	315,483	315,483
外部顧客への売上高	3,703,080	1,717,181	315,483	5,735,746
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,658	172,298	2,221	176,177
計	3,704,738	1,889,480	317,704	5,911,923
セグメント利益	95,482	204,216	128,793	428,492

(単位:千円)

	その他(注)1	合 計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	991	5,421,253	—	5,421,253
その他の収益	—	315,483	—	315,483
外部顧客への売上高	991	5,736,737	—	5,736,737
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	176,177	△176,177	—
計	991	5,912,914	△176,177	5,736,737
セグメント利益	809	429,301	△241,354	187,947

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△241,354千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 令和5年9月1日 至 令和6年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			
	小 売 事 業	卸 売 事 業	不動産賃貸事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	3,916,174	1,751,111	—	5,667,286
その他の収益	—	—	321,963	321,963
外部顧客への売上高	3,916,174	1,751,111	321,963	5,989,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	233,707	195,949	2,298	431,955
計	4,149,881	1,947,061	324,261	6,421,204
セグメント利益	43,062	47,571	139,061	229,695

(単位:千円)

	その他(注)1	合 計	調整額(注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	754	5,668,041	—	5,668,041
その他の収益	—	321,963	—	321,963
外部顧客への売上高	754	5,990,004	—	5,990,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	431,955	△431,955	—
計	754	6,421,959	△431,955	5,990,004
セグメント利益	607	230,302	△225,227	5,075

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△225,227千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。